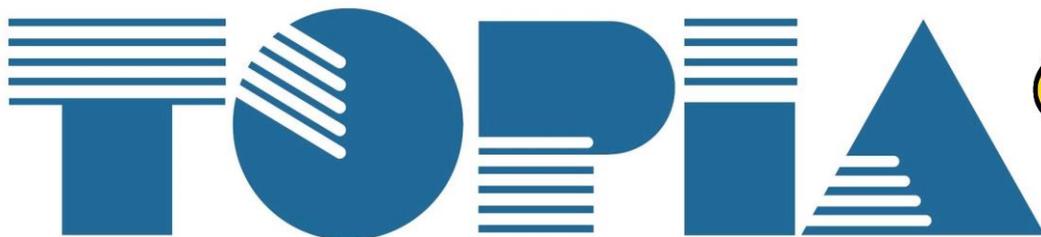




第71号



2017.9

TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL : 088-656-3303

2017年度 外国人による徳島県日本語弁論大会



出場者と審査員の方々



最優秀賞を受賞されたエンフトウル エンフザヤさん

7月23日(日)、「2017年度 外国人による徳島県日本語弁論大会」が開催され、8カ国13名の方々が出場され熱弁をふるいました。出場者の方たちのスピーチはどれも素晴らしく、会場に来られた180名の来場者の方たちは熱心に耳を傾けておられました。弁論大会終了後の交流会では、出場者の方の歌や太極拳などの披露もあり、最後は阿波おどりで出場者と来場者の方たちが一緒に楽しいひとときを過ごしました。

今大会で最優秀賞を受賞されたのは、阿南工業高等専門学校のエンフトウル エンフザヤさんです。

できるうちに電話しよう！

エンフトウル エンフザヤ (モンゴル国)

今、このホールにいらっしゃる皆様は、大きい成功や小さい成功を積み重ねて来られた方々だと思えます。いろいろ苦しいことを乗り越えながらも夢を叶えて国の大統領になったというのも成功であれば、朝早く起きるのが大変だったけど頑張って起きたというのも成功です。それでは、私たちの成功の背景には、いったい何があるのでしょうか。誰がいるのでしょうか。

私は中学生の時から日本に留学したいという希望を持っていましたが、当時の私にとって、それは夢のまた夢でした。しかし、精一杯、一生懸命頑張っていたら、いつの間にかその夢の中に入り込み、夢を実現させることが出来てしまいました。留学が決まったその時は、自分だけの力でできたように感じていました。何年間も強く望みながら、必死に勉強した結果だったため、うれしさのあまりそう感じたのかもしれませんが、しかし、日本に来た後、それは全く違っていったことが分かりました。

私は去年東京で1年間日本語を勉強しました。今年から3年間阿南工業高等専門学校で勉強することになって、徳島県にやって参りました。日本語学校で色々な国から来た学生たちと一緒に勉強して、彼らのことを知るにつれて、視野が広がり、自分の知らない世界に入ってみることができたと思います。特に、あるインドネシア人の学生とはよく話をし、友達になりました。私たちには共通点もあれば、相違点もあり、その友達との話は話題がいつまでも尽きないほど面白かったです。

ある日、その友達に「家族に電話しないの?」と聞かれました。その時、私は何も考えずに「うん、しないよ。いつも家族から電話がかかってくるから、自分から電話する必要ないよ!」と答えました。実は私は来日して以来、友達に聞かれるまでは両親に自分から一度も電話をかけたことがありませんでした。逆に、その友達は毎日どこか、昼休みの時でさえも家族に電話して、その日の出来事を話したり、両親が元気で暮らしているかを確認したりしていました。

それで、私は考えたのです。私が生まれ、今まで生きてこられたのは誰のおかげか。苦勞せず、健康に育ったのは誰のおかげか。体調を崩してでも私の教育のために一生懸命働いてくれたのは誰か。いつも勉強をしっかりとやらせてくれた母、毎日ピアノと水泳の練習をさせてくれた父。2人に対して「もうやりたくないのに、うるさい! やめてくれ!」と思っていた時代もあります。ですが、2人がそううるさくしてくれたからこそ、今、私はそれらのことを誰よりも自信を持ってできるようになったと思います。

日本に留学して、私が一番分かったことは、家族の大切さと母国の価値です。親というのは永遠に私たちのそばで生きていられません。この世からいついなくなるかも予想しようがありません。ですから、いくら遠くても、いくら忙しくても、できるうちに電話をして両親の笑い声を聞き、自分の声を聞かせようと思います。親も私も安心できて、ささやかながらも幸せを感じられるのではないのでしょうか。

日本に留学することができたのは、これまでの私の人生における最大の成功です。また、この弁論大会に参加して、今ここに立っているのも、自分を試すことができているという成功です。これらの自分の成功の背景にあったものは何か。誰か。私はようやく気が付きました。それはただ、いつも支えてくれる家族でした。皆さんもご家族のご支援があったからこそ、これまでの人生を無事に送って来られたのに違いないでしょう。

親も、母国も私を待っています。私には、国へ戻って、日本で学んだことを生かすという責任がありますから、この道がどんなに大変でも諦めるわけにはいきません。

お父さん、お母さん、私の国、モンゴル。しばらくお待ちします。ですが、楽しみにしててください。



熱弁中のエンフトウル エンフザヤさん



みんなで楽しく阿波おどり!



出場者の特技を披露していただきました!



あらしわ連は、徳島県が誇る伝統的な郷土芸能である阿波おどりを、世界各国の人々と一緒に踊ることにより、国籍、人種、宗教などに関わらず、お互いに理解し合い、平和な世界をつくってほしいという願いを込めて1981年に結成されました。早いもので、今年、37回目を迎えました。本年は、あらしわ連のこれまでの歴史を踏まえながら、さらに一歩前進するため、実行委員会を新たに立ち上げるとともに、有名連の指導により、選抜チームを養成するなど、新たな試みを実施いたしました。

世界は一つ「あらしわ連」!

徳島県国際交流員
張 楠

年に一度の徳島市阿波おどりが今年も8月15日に閉幕しました。阿波おどり開催の4日間で、約885の阿波おどり連が踊りを披露し、約123万人の人出で賑わいました。平素は静かな徳島市も活気と活力で溢れ、みんなが一緒になって阿波おどりと夏の徳島の魅力に酔いしれました。

数多くある阿波おどり連の中には、二大協会に属する33の有名連や、徳島、日本全国、世界各地で活躍している企業の企業連、各地の大学生で結成された学生連、徳島県民が自発的に結成した愛好家の連があります。中でも特に注目を集めたのが、徳島在住外国人と徳島県民により結成された国際連ですが、そのうち規模、人数ともに最大なのが、徳島県国際交流協会主催の「あらしわ連」です。

「あらしわ連」の名前は徳島方言の「争われん」から来ています。争わないで仲良くしましょう、という意味です。これは主催者や参加者全員の共通の願いです。「あらしわ連」は37年の歴史があり、今年も21の国と地域出身の123名の外国人と、157名の国際交流事業に従事したり尽力したりしている日本人が参加し、地元の人たちと楽しく阿波踊りを踊りました。

8月14日午後、「あらしわ連」メンバー全員が阿波観光ホテルに集まり、着付け師さんに阿波おどりの浴衣や法被を着せてもらいました。そして、有名連の「のんき連」メンバーの指導の下、阿波おどりを練習しました。中には、初めて阿波おどりを踊る外国人もいて、阿波おどりのメロディーと「同じ側の手と足を同時に出す」という踊り姿に笑い転がっていました。世界各地出身の外国人が徳島で一堂に会し、阿波おどりを通して地元住民と友好を深め、気持ちを通じ合わせ、お互いの理解を深めました。

今年と例年の最大の違いは、特別に十数名の外国人を組織して事前に阿波おどりを練習し、選抜隊として行列の最前に配置して観衆にアピールしたことです。1ヵ月以上の厳しい練習を経て、外国人の皆さんが二拍子のリズムに合わせ、上手に阿波おどりを踊りました。夕方になると、メンバー全員が徳島市内の演舞場で「ヤットサー、ヤットヤット!」と大きな掛け声をかけながら、連名の記された高張提灯を先頭にゆっくり進んでいきました。この一時に、年齢も国籍も人種も宗教も違う人たちが一緒になって阿波おどりを踊る光景は、観衆に深い感動を与えました。手を上げ足を上げれば、阿波おどり! 多くの人が初めて阿波おどりを踊ったので、揃った足取りにはなりませんが、「あらしわ連」のメンバー一人ひとりが阿波おどりに酔いしれ、阿波おどりを心から楽しみました。



藍場浜演舞場を踊る筆者(写真中央)

8月12日（土）から14日（月）まで、阿波市土成町の四国霊場第七番十楽寺において平成29年度中高校生夏期英語セミナーを開催しました。今回は県内の中高校生40名と外国語指導助手ら46名が参加しました。最初は恥ずかしそうにしていた中高校生たちですが、ALTからの元気な“Hi!”で緊張がほぐれ、セミナー中は笑い声が絶えることがありませんでした。

今回、参加された方の感想を紹介させていただきます

夢への一歩

徳島市立高等学校
住友 映月

私は、初めてこの英語セミナーに参加しました。きっかけは今回一緒に参加した友達に誘われたことです。英語は好きだけど全然思うように話せない私は、最初はどうか迷っていたのですが、将来の夢がキャビンアテンダントということもあり、少しでも自分の英語力が高められたらいいと思って参加を決意しました。

セミナーでは、とにかく外国語指導助手（ALT）の多さに驚きました。最初の自己紹介では、ALTの方たちの話すスピードが速くて内容が聞き取れず、この3日間やっていけるのか非常に不安になりました。しかし、分からなかったり聞き取れなかったりしても「slowly please」と言えば、誰も嫌な顔一つせず、ゆっくり話してくれました。だんだん話しているうちに心にゆとりが持てるようになり、不安や緊張はなくなりました。

各班の活動の最終目標は、自分たちでテーマを決め、寸劇を披露するというものでした。私たちの班は「Black Cats Sweets Shop」というお菓子屋さんをテーマにしました。私は、食べると若返るキャンディーを売る店員を演じました。現実ではあり得ない事だったので、演じるのがとても楽しかったです。そして発表の時、皆に笑ってもらいたくて必死に演じました。セリフは短くても外国人になりきったつもりで話しました。すると皆から「great !!」などと褒めてもらえました。英語を学ぶ上で、ALTの方たちに英語を褒められることほどうれしいものはありません。

今回、私がこのセミナーに参加して学んだことはたくさんあります。そのうち一番重要なことは、外国人と直接コミュニケーションを取るからこそ、異文化理解を深めると共に語学力が上がるということです。リスニング能力を高めたいからといってリスニングのCDを聴くより、断然、外国人とコミュニケーションを取りながら直接話すほうが能力は高められると思いますし、国際的な視野を広げることができます。このような経験をしたのは初めてだったので、もっと自分も国際感覚を身につけ、語学力を高めないといけないな、と本気で思えるようになりました。

私はこの経験をしっかりキャビンアテンダントの道へとつなげていきたいです。そして、このセミナーで得た「今まで感じたことのない刺激」を無駄にしないよう、これからも英語の勉強を頑張ろうと思います。今回は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



ALTにツルの折り方を
教えている住友さん



英語セミナーの様子



夏休み子ども日本語教室

JTMとくしま日本語ネットワーク
木内 ひろみ



毎年恒例の徳島県国際交流協会主催（徳島県事業）、夏休み子ども日本語教室が7月25日（火）～8月5日（土）のうち、8日間開催されました。

チューター16名に加え、城東高校生7名、徳島大学生6名、四国大学生3名もボランティアとして参加しました。子どもたちの参加は15名で、みんな活気に溢れ、スタッフ一同子どもたちに元気づけられました。初めて参加した子どもたちも日を重ねるにつれて、場に慣れ親しみ笑顔が出てくるようになりました。

一時間の個別学習では夏休みの宿題のワークや作文、チューターが用意した教材などで楽しみながら言葉や数の学習をしました。一分間スピーチでは、好きなもの、得意なこと、夢などを発表しました。人前に出る恥ずかしさからスピーチを嫌がっていた子どもたちもしっかり発表出来るようになりました。

全体学習では、1日目のアイスブレイキングから始まり、言葉遊び、夏の虫、クイズ、夏に関する言葉、間違い探し、男女対抗ゲームを楽しみ、最終日はペアゲームと読み聞かせでしめくくりました。各講師の工夫された内容に子どもたちも引き込まれ、言葉の学習や仲間との交流を楽しみました。4日目のクイズやゲームで、城東高校生、徳大生、四国大生が主導して全体学習を行いました。この新しい試みは学生たちにとって貴重な経験になったことでしょう。

最終日に配られた『アルバム』に楽しかった思い出がしっかりおさめられています。アルバムを手にした子どもたちはしばらく釘づけになって見ていました。

このサマースクールで学んだことを基にこれからもそれぞれの生活や学校の場で頑張りたいと願っています。



TOPIA ニューフェイス

ゲーテンターク! このたび、徳島県の国際交流員としてドイツから参りましたトム・ベルマンです。徳島県と友好提携をしているドイツのニーダーザクセンとの交流がとても活発になってきたため、文化、スポーツや学術などに関する交流企画を調整することが私の仕事の一つです。また、「阿波ライフ」という県内在住外国人向けの英語の情報誌を国際交流員のダラリンさんやフランシスカさんと一緒に編集し、在住外国人の方々に情報をお届け致します。以前、名古屋に住んでいた時に名古屋のローカル雑誌に記事を書く機会があり、経験を積むことができたので、今回も楽しみにしています。

私はドイツのライプツィヒ大学とベルリン自由大学で日本学とメディア・コミュニケーションを勉強しました。初めての来日は5年前で、名古屋と東京に合計約2年間住んでいました。日本を「第二の故郷」と呼べるのでしょうか。日本の様々な地域を旅行したにもかかわらず、四国を訪れたことがありませんでした。今回、来日をしてすぐに徳島県国際交流協会主催の「あらしわ連」に参加をし、初めて阿波おどりを踊りました。これから鳴門の渦潮、祖谷のかずら橋などを訪れ、徳島県について色々学びたいです。

私の趣味は幅広く、スポーツなら友達とバドミントンをしたり、一人で景色を楽しみながら山登りをしたりするのが好きです。色々な食べ物を食べるのも好きですが、特に激辛の料理を好んで食べます。今は、徳島にある辛いラーメン屋さんを探しています。もしどなたかご存知なればぜひ教えてください。

現在、阿波弁はまだ全然頭に入ってこない状態でとても聞き取りにくいですが、しかし、「郷に入れば郷に従え」ということで、これから頑張ります。

もし、私を徳島で見かけたら、ぜひ声をかけてください。よろしくお願いします。



徳島県国際交流員
トム・ベルマン



「あらしわ連」初参加のトムさん!



美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」

代表 遊亀 美枝

昨年度、美波町は、文化庁の「地域日本語教育スタートアッププログラム事業」に応募し、全国で5つの採択団体の一つになりました。平成30年度までの3年間の事業です。このスタートアップ事業では、日本語教室の空白地域に日本語教室を開設することによって、地域に住んでいる外国人が生活に必要な日本語を習得し、孤立することなく、地域で円滑な社会生活をしていくことができることをめざしています。と同時に、外国人も移住者も暮らしやすい多文化共生のまちづくりをめざします。この事業のために集まった日本語ボランティアの会が「ハーモニー」です。

「ハーモニー」の目的の一つは、美波町に日本語教室をつくることでした。事業2年目の今年6月に「美波日本語教室開所式」を行い、地域の皆さんに知っていただくとともに、実際には木岐地区で日本語教室を始めました。

もう一つの目的は、美波町を多文化共生の開かれた町にすることです。美波町には四国霊場88ヶ所巡りの23番札所、薬王寺があります。ここ数年、外国人のお遍路さんが急激に増えてきました。また、美波町は、2021年にワールドマスターズゲームズのトライアスロンの会場にも決まっており、外国人観光客の受け入れに力を入れていこうとしています。そんな中ですから、多文化共生のまちづくりは重要であると考えられています。

昨年度より、ハーモニーは、いろいろな多文化共生につながるイベントに関わってきました。まず、10月の秋祭りへの外国人の参加、11月には、日和佐・ここに人権フェスティバルに異文化交流のブースを出店、1月には、在住の外国人を対象とした「防災ワークショップin美波」を開催。29年度に入っただけで、日和佐のさくら祭りの日に合わせて、「桜&古民家ツアー」を実施。そして、先月は外国人のための「浴衣着付け体験イベント」を開催するなど、ハーモニーは、外国人と日本人が交流する時間と場所を数多く提供してきました。美波町内はもちろん、徳島県に住む外国人の皆さんに、日和佐の魅力を味わってもらいたいと思います。異文化交流の体験を重ねることで、お互いの文化について知り、理解し合うことが多文化共生につながると考えています。

現在、9月から日和佐地区で新たな日本語教室を始めるために準備中です。これからも、ハーモニーは公的機関と連携しながら、地域のひととともに多文化共生をめざして様々な活動を行っていきますので、よろしくお願ひします。

ハーモニーのブログ <http://hiwasa33.blogspot.jp/>
ハーモニーの連絡先 E-mail yukishoka33@mc.pikara.ne.jp



八幡神社秋祭りにて



防災ワークショップ in 美波



インドネシア人歓迎会



ウミガメ祭り 浴衣着付け体験

JICA四国

イベントのお知らせ



○世界のいまを知ろう！～JICAの国際理解講座～

徳島大学 大学開放実践センターが実施する平成29年度秋冬学期の公開講座にてJICA四国が無料講座を開講します。



平成29年度 秋冬学期 徳島大学 大学開放実践センター 公開講座

世界のいまを知ろう!

～JICAの国際理解講座～

開催時期 10月～12月 会場 徳島大学 大学開放実践センター
開催日 隔週・全5回 定員 無料 定員 50名

講座スケジュール 自民・清島中JICAの外国人研修員が担当予定です。

第1回	10/13	0	中絶「コスタリカ」	講師 日本研修員(中絶活動協力)
第2回	10/27	0	ネパールの「モロコ」	講師 日本研修員(モロコシ協力)
第3回	11/10	0	中絶アジア「トルギン」	講師 日本研修員(中絶活動協力)
第4回	11/24	0	中絶アジア「アフガニスタン」	講師 日本研修員(アフガニスタン協力)
第5回	12/1	0	大津の「バングラ」	講師 日本研修員(バングラ協力)

お問い合わせ JICA四国徳島デスク(内西) TEL: 088-656-3303

講座内容：海外約90ヶ所に拠点を持つJICAによる、世界の現状を学び、国際理解を深める講座です。講師は帰国間もない徳島県出身のJICAボランティア経験者と県内在住のJICA外国人研修員です。毎回、異なる講師を招き、現地で2年間のJICAボランティア活動を経験したからこそ知る、世界のいまについてお話しします。また、JICA研修員からは母国の文化や日本・徳島に住んで感じたホントのところ、を伝えます。外国で活動した徳島人、徳島で生活する外国人の両者の講義からインターネット等の情報だけでは知りえない、リアルな世界を学び、グローバルな視野を養います。

海外の文化、生活、人、国際理解、国際協力などにご関心のある方はお気軽に受講お申し込みください。

日時：第1回 10/13 (金)、第2回10/27 (金)、第3回11/10 (金)
第4回 11/24 (金)、第5回12/1 (金)

開講時間：18：30～20：00

★詳細はJICA四国HP (https://www.jica.go.jp/shikoku/event/2017/10_12.html) まで

○JICAボランティア2017年度秋募集説明会

1965年に初めて青年海外協力隊員が派遣されて以来、JICAのボランティア派遣事業は今年で52年目です。2017年1月には、ついに累計派遣人数が5万人を突破しました。徳島県からも現在13ヶ国、15名ものJICAボランティアが派遣されています。

秋募集受付期間に併せて下記、JICAボランティア募集説明会イベントを実施します。



入場無料 アフリカトーク&ライブ

トーク ジャマニシ・ホトノイ・セイヨウ 大津保雄
& JICAボランティア 体験談&募集説明会

マサイで生きる

2017 13:00-17:00 (開場12:30)

10.15日 とくぎんとモニプラザ
徳島県徳島市徳島駅前ビル2-1

定員100名 予約不要 入場無料

お問い合わせ JICA四国徳島デスク(内西) TEL: 088-621-8824 徳島デスク(徳島) TEL: 088-656-3303

日時：10月15日(日) 13:00～17:00(開場12:30)
会場：とくぎんとモニプラザ大会議室
プログラム：13:00～ アフリカトーク&ライブ「マサイで生きる」
15:00～ JICAボランティア体験談&募集説明会

～2017年度秋募集受付期間～
2017年9月29日～11月1日
Webから応募できるようになりました。
詳しくはJICAのWEBへ！

問合せ

【JICA徳島デスク (TOPIA内) 上西】
電話：088-656-3303
メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp



10月1日（月）から当協会の日本語教室後期が始まります！日本語を勉強したい方がいらっしゃいましたら、是非、当協会の日本語教室をご紹介します。スケジュールなどの詳細はHPをご覧ください。▶URL: <http://www.topia.ne.jp>

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」*募集中*

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめとする、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による

多言語電話相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

受付時間：平日 10：00～18：00

T E L : 088-656-3320 (相談電話)

日時、内容等により依頼にお応えできない場合がありますので、ご了承ください。

三好市で

ラフティング世界選手権2017開催！
平成29年10月3日～10月9日

問合せ：ラフティング世界選手権
実行委員会事務局
TEL：0883-72-7628



IRF WORLD RAFTING
CHAMPIONSHIP
2017 JAPAN



問合せ：公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp> Email: topia@topia.ne.jp

地域日本語指導ボランティア養成講座 in 三好市

～外国人の方への日本語の教え方を

一緒に勉強しませんか？～

▶日程：

前期

講師：青木 洋子先生

11月18・25日

12月2・9・16日（土）

後期

講師：山田 多佳子先生

2018年1月13・20・27日

2月3・25日（土）

*開催日は変更される場合があります。

▶場所：三好市池田町保健センター他

▶時間：9:30～15:15（予定）

▶受講料：無料

（要テキスト：みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ第2版）

▶運営：三好市国際交流協会

★詳細はトピアホームページに9月中旬にアップします。

（この事業は文化庁と徳島県の事業です）



在住外国人の方対象の「防災出前講座」を
ご活用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフの巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。*申込は当協会まで。

防災出前講座の様子



TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費 個人会員 一口 3,000円/年度

団体会員 一口 10,000円/年度